

科目名	地域で暮らす人々への看護	対象学年・時期	2年・前期
講師	専任教員	単位数・時間数	1単位・15時間
授業概要	<p>ディプロマポリシー6に基づく。 現在、わが国は超高齢社会の進展をうけて、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう地域包括ケアシステムの構築が進んでいる。暮らしの視点を踏まえた看護を実践するには、看護の対象の捉え方を「病院で療養する人々」から「地域で暮らす人々」へと転換することが必要とされる。地域で暮らす人々は、その個人・家族の健康観、人生観、信念に沿って、法律、制度等の資源を用いて暮らしている。「地域で暮らす人」と「家族」「人を支える人々」のQOLを支える看護を学ぶために、人の生涯を通して地域で暮らすための支えとなる法、制度、施策、環境づくりを知り、それらによって暮らしが成り立っていることを学ぶ。</p>		
授業形態	演習、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション		
学習目標	1. 人が生涯を通し地域で暮らすことを支える法、制度、施策、環境について理解できる。		
授業計画	<p>事例をもとに、私たちは、どのような法・制度・施策に支えられているか、どのような環境で生活しているかなど、深く考えて行きます。</p> <p>1回目：ガイダンス、事例に関連する法・制度の確認（グループワーク）（45分） 2回目：事例のワーク（グループワーク） 3回目：フィールドワークの発表会準備 4回目：フィールドワーク発表会 5回目：事例のワーク（グループワーク） 6回目：事例のワーク（グループワーク） 7回目：学習発表会 8回目：まとめ「4つの助を考えよう」</p>		
使用テキスト・参考書	<p>ナーシング・グラフィカ 看護をめぐる法と制度 メディカ出版 ナーシング・グラフィカ 社会福祉と社会保障 メディカ出版</p>		
事前・事後学修 (学習を促進する学修)	ワーク参加において、自己の地域の制度について調べるなど主体的に参加してください。事前学修・事後学修は適宜指示します。		
評価基準・評価方法	課題への取り組みで評価		
備考			